

テーマ	工業簿記における財務諸表									
学籍番号									氏 名	

1. 次の資料にもとづき、製造原価報告書を作成しなさい。なお、原価差異は当期の売上原価に賦課している。

〔資料〕

(1) 棚卸資産

	期 首 有 高	当 期 仕 入 高	期 末 有 高 (帳簿)	期 末 有 高 (実地)
主 要 材 料 費	¥45,000	¥100,000	¥33,000	¥32,900
補 助 材 料 費	¥2,000	¥17,000	¥1,800	¥1,800
仕 掛 品	¥130,000	—	¥120,000	—

(2) 主要材料の減耗は通常起こりうる程度のものである。

(3) 賃金

	期 首 未 払 額	当 期 支 払 高	期 末 未 払 高
直 接 工 賃 金	¥21,000	¥89,000	¥16,000
間 接 工 賃 金	¥9,000	¥25,000	¥6,000

(4) 直接材料費＝主要材料費、直接労務費＝直接工賃金消費額である。

(5) 製造間接費は、直接労務費基準により、配賦率 140%で各指図書に予定配賦している。

(6) 製造間接費実際発生額（他の資料より判明するものは除く）

建物減価償却費	¥9,000	固定資産税	¥3,200
工場消耗品費	¥4,900	消耗工具器具備品費	¥3,850
光熱費	¥6,610	工場従業員厚生費	¥8,300
工場職員給料	¥30,520	機械減価償却費	¥16,750

製 造 原 価 報 告 書

I. 直接材料費

期首主要材料棚卸高	(45,000)	
当期主要材料仕入高	(100,000)	
合 計	(145,000)	
期末主要材料棚卸高	(33,000)	(112,000)

II. 直接労務費

(84,000)

III. 製造間接費

間 接 材 料 費	(25,950)	
間 接 労 務 費	(52,520)	
間 接 経 費	(43,960)	
合 計	(122,430)	
製造間接費配賦差異	(4,830)	(117,600)
当期総製造費用		(313,600)
期首仕掛品原価		(130,000)
合 計		(443,600)
期末仕掛品原価		(120,000)
当期製品製造原価		(323,600)

授業の感想など	
---------	--